

ご挨拶



新年明けましておめでとうございます。
神奈川県馬主協会会員の皆様におかれましては、日頃より川崎競馬の開催にあたりまして、多大なるご理解、ご協力並びにご指導、ご鞭撻を賜り心から御礼申し上げます。

昨年の川崎競馬では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月2日から無観客競馬を開催してきました。その後、「競馬における新型コロナウイルス感染拡大防止予防ガイドライン」に基づき徹底した感染予防対策を講じたうえで、9月18日から入場を再開しましたが、感染状況を鑑み、本年の正月から無観客競馬を開催しております。

コロナ禍の中、安心・安全に競馬開催を継続させる為に感染予防対策の一環として、馬主の皆様が競馬場における観戦の制限など不自由をおかけしておりますが、皆様のご理解とご協力に対し、深く感謝申し上げます。

このような中、今年度の川崎競馬の開催実績につきましては、好調な在宅投票により、売上金が前年度比17%増と、昨年度までの好調を維持しております。

当組合では、さらなる川崎競馬の発展のために「強い馬づくり」に取り組んでおります。昨年度から、小向の練習馬場の改良を行い、今年度末に完成いたします。新たな角馬場や大小の丸馬場などにより競走馬の状態等に合った調教ができるようになります。また、平成30年度からより快適な馬房環境を目指すため、各馬房への冷房設備の設置を進め、来年度には全ての馬房への設置が完了する予定です。

このような練習馬場や馬房環境の整備を行うことにより、充実した調教環境をご提供することができますので、馬主の皆様におかれましては、さらに多くの競走馬を小向きゅう舎に預けていただきますよう、お願い申し上げます。

正月早々2度目の緊急事態宣言が発せられ、まだまだ先行きが不透明な状況ではございますが、これからも感染症対策にしっかりと取り組み、川崎競馬を盛り上げてまいります。最後になりますが、今年1年の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお祈りいたします。

神奈川県川崎競馬組合 管理者 武井政二

ご挨拶



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、美しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ご案内の通り、政府による緊急事態宣言が1月7日に発令されました。このままでは、爆発的感染拡大（オーバーシュート）が起き、医療崩壊のみならず、社会経済の崩壊をもたらすと警鐘が鳴らされています。政府は国民に対し、従来の三密の回避、手洗い、消毒、換気の実践のほか、7割のテレワーク、午後8時以降の飲食店生営業時間短縮、屋内での4人以上の会食や接触の自粛を求めています。

今年に入り、南関東地方競馬は、無観客競馬に戻りましたが、お正月競馬は、恙なく施行され安堵しています。この先、日本の競馬開催の中断がないことを祈るばかりです。

お陰様で、当会会員数は550名に届くまで増員しました（私が会長に就任した10年前には約300名ほどで、主催者から増員を図るよう指導を受けました。）。このような会員数の飛躍的な増加は、会員の皆様の川崎競馬に対する篤い思いの表れと自覚し、会員の皆様の負託に応えるべく当会役員一同業務に精励します。

主催者の懸命なる経営努力の成果により、令和2年地方競馬は、28%の売り上げ増を実現しました（川崎競馬：16.4%増）。コロナ禍の中、川崎競馬の持続的な成長に貢献されている、競馬組合、施設会社、調教師会、騎手会、愛馬会、獣医師会、装蹄師会の各位に対し、当会を代表しまして、深甚なる敬意を表する次第です。

一方、地方競馬の課題に、きゅう務員の確保があります。そのためには、社会保険制度及び住居環境の整備が重要なファクターと考えます（ハローワークでの人材募集に必要な条件であり、競馬組合もきゅう務員確保に対し、問題意識を共有しています。）。既に、きゅう務員の社会保険制度は導入しましたので、残るは宿舍の完備です。この問題につきましては、小向きゅう舎内にきゅう務員宿舍の建設を目指す方向で、競馬組合、施設会社、調教師会、愛馬会、当会で意見調整を重ねています。因みに、日本中央競馬会の場合は、きゅう舎と隣接してきゅう務員の宿舍が完備されており、24時間愛馬の管理が適切に行える環境となっており、その賃料も廉価と聞いています。

きゅう務員の確保ときゅう務員宿舍の完備は、川崎競馬の持続的成長及び強い馬づくりに不可欠と考えます。競馬開催時には、きゅう務員は、宿舍ときゅう舎との間を3回往復する重労働を強いられることを考えますと、何としても早期に解決すべき課題です（ナイトー競馬開催時は、さらに重労働となります。）。

コロナ渦中であって、競馬組合におかれましては、デジタル化による出馬の手続きや三密を避けるため調整ルーム制度の改革を実施し、公正競馬を視野に入れた競馬施行をお願いしたいと考えます。

末文ながら、会員の皆様のご健勝とご多幸並びに愛馬のご活躍を祈念して已みません。

一般社団法人神奈川県馬主協会 会長 加藤豊三

令和3年度2歳一般購入奨励金申請馬 事前登録制度の導入について

日ごろより協会の運営並びに事業に対し、ご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和2年度後半の2歳馬購入奨励金の交付につきましては、会員の皆様にご心配をお掛け致しました。

今年度の状況を鑑み、令和3年度2歳一般購入奨励金申請馬につきましては「事前登録制度」を導入することになりました。

申請は、会員一名あたり2頭が上限です。（令和2年度市場取引馬奨励金に当選され、1歳馬を購入・申請済みの方は1頭分の権利を行使されたものとします）

締め切り日： 令和3年2月26日

必要書類： ・血統登録証明書(写し)

・売買契約書(写し)

※自家生産馬につきましては馬所有念書(任意書式)

※原則、調教師経由で提出してください。

(預託先が未定の場合は、直接馬主協会へ提出してください。(FAX可))

※申請馬が傷害等で差し替えをする場合は、差し替えの理由について共済委員会で審査の上、変更の可否を決定した後、役員会議にて承認を受ける手続きとなりますのでご承知おきください。

令和2年度賞典奨励金等について

- 川崎在きゅう馬に対する出走奨励金：12万円
- 川崎在きゅう会員所有馬の着外手当：主催者から5万円+当協会から3万円★=8万円
- 川崎競馬場所属騎手騎乗での出走奨励金：1万円
- すべての競走での入着奨励金：1万円
- 3歳以上馬 2,000m以上の競走の出走奨励金：3万円
- 2歳馬 1,600m以上の競走の出走奨励金：3万円
- C1級C2級の普通競走での入着付加奨励金（2万円～40万円、詳細は競馬番組に記載）を支給
- 川崎記念・エンプレス杯・スパーキングレディーカップ出走付加金（川崎在きゅう馬）：30万円
- 2歳新馬（能力試験合格後共済制度加入が条件）奨励金★：一律100万円（110頭）
- 市場取引馬奨励金（拡充）★：50名の会員にセリ価格（消費税抜き）に応じて助成（別掲）
- 3歳JRA転入馬（3歳中に、南関東で1走が条件）奨励金★：30万円（50頭）
- 共済制度の特典：休養から帰きゅうした馬並びに長期在きゅうした馬に付加金支給★
- 新馬戦・メインレース優勝馬の馬主（会員）へ記念品を贈呈★
- ★は当協会の会員限定の特典です。

*奨励馬・共済制度には、遵守事項がありますので、事務局にお問い合わせください。

令和2年度第14回川崎競馬（3月1日～5日）の無観客での開催について

神奈川県内での新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、令和2年度第14回川崎競馬も引き続き無観客での開催とすることといたしました。

ご迷惑をおかけいたしますが、引き続き会員の皆様のご協力をお願いいたします。

- 1 無観客競馬の開催日程：令和3年3月1日（月）～5日（金）
- 2 無観客競馬について
 - ・「密閉」「密集」「密接」を避け、必ずマスクをご着用ください。
 - ・開催中競馬場への入場は当日の出走馬主1名（法人、組合馬主は2名まで）に限定します。
 - ・競馬場内の行動範囲は、1号館3階の馬主エリア及び指定する場所に限定し、パドック脇の馬主エリアを含め、口取り写真の撮影以外の業務エリアへの立ち入りはご遠慮いただきます。

また、小向きゅう舎への不要不急の立ち入りをご遠慮くださいますようお願いいたします。

金子正彦の Jockey Life ジョッキーライフ

■ Jockey Life～増田充宏騎手～

金子正彦元騎手が聞く川崎ジョッキーズの素顔。
Jockey Lifeインタビューの第8回にご登場いただくのは増田充宏騎手。
優しい笑顔と堅実な人柄で関係者からの信頼も得ています。日々 20頭余りの調教に騎乗する地道な努力が実り、勝ち鞍を増やしていますね。川崎競馬場で結婚式を挙げた懐かしい話も出てきます。

【金子】 静岡県熱海市の出身だったよね。騎手になるきっかけは何だったの？

【増田】 中学の時に友達と一緒にダビスタ(ダービースタリオンという競走馬育成ゲーム)をやっていて競馬に興味を持ちました。身体も小さかったですし、騎手になろうと思ったけど視力がギリギリで。視力を良くしようと星を見たりいろいろやって、高校2年の時に受験。地方の秋組の試験があったので受けたんですけど、その頃は中央と地方があるのもよくわかっていませんでした。

【金子】 ご両親はすぐに賛成してくれたの？

【増田】 最初はあまりいい顔しませんでした。騎手になりたいと言いつついたら、応援してくれるようになりました。

【金子】 地方競馬の試験は一般公募で受けたんだよね？

【増田】 南関東を希望していたんですが、講師に来ていた佐々木竹見さんから「川崎に来てみないか？」と言ってもらって、それならと照沼一二先生が手を上げてくれました。

【金子】 勝負服の由来は？

【増田】 サイレンスズカが好きだったので黄色と緑をいただきました。最期は悲しい結果になりましたが、あの逃げは見えても気持ちよかったし、グラスワンダーとエルコンドルパサーを寄せ付けなかった毎日王冠は感動しました。袖につけた2本輪は今野騎手への憧れを込めました。ご本人には言っていないですけど。

【金子】 初騎乗が 2002年 11月 14日だから、通常のデビューから1ヵ月くらい遅れたんだね。

【増田】 デビューする直前の調教中に馬がつかづいて転倒。ひっくり返った馬の下敷きになって、股関節の亜脱臼。すぐには乗れませんでした。レースで結果を残せずに、初勝利したのも1年近くかかりました。調教は一生懸命乗っていたんですけどなかなかうまくいかなくて。

【金子】 初勝利は翌年の9月16日。今は減量特典の基準も違っていて、この頃は2年で減量が切れてしまうのは厳しかった大変だったね。

【増田】 照沼先生が裏に回ってお願いしてくれていることを耳にしたので、めげずに頑張るしかない。

【金子】 デビューして4年目くらいから騎乗数がグンと増えてる。3年目では年間118鞍乗って3勝だったのが、次の年には216鞍乗って10勝。231鞍、267鞍、300鞍って騎乗回数を年々増やしている。

【増田】 やるしかない、とにかく調教にたくさん乗せてもらいました。気性の悪いのでも、歩様の悪いのでも引き受けて調教をつけているうちに、ちよこちよ勝てるようになってきました。

【金子】 真面目でおとなしいし、愚痴も言わないし、頑張っているなど思っで見ているよ。

【増田】 けっこうひねくれているんですよ(笑) 馬に愚痴をこぼすこともありますから。

【金子】 そりゃあ、自分が勝てずに、他の人が勝てれば面白くないって思うさ、誰だって。

【増田】 実は負けず嫌いなんです(笑)

【金子】 デビュー前もそうだったし、ケガが多かったね。



【増田】 デビュー前にやった股関節の亜脱臼はずいぶん尾を引いて、普段の生活には支障がないんですけど、アブミを短くすると痛みを感じることもありました。だからアブミを少し長くして。そうしたら成績が上がってきたので、それまではバランスが合っていなかったのかもしれない。短いアブミの方がかっこいいんですけど(笑)。

【金子】 そりゃ、アブミが短い方がかっこいいけど、あまり短いとズブい馬なんて追いきれないよ。アブミの長さを変えたのっていつくらい？

【増田】 ちゃんと見直したのは年間20勝を越えるようになった頃でしょうか。

【金子】 2014年には23勝。その後は30勝を越えるようにもなった。年間通して乗ってる年は500鞍近く乗ってるもんね。いい感じになってきたときにケガをしてしまうのはもったいなかった。

【増田】 そうなんです。調子が良くなってくるとケガをしよう。せつかく良い馬に乗せてもらえるようになって、休んでいるうちに他の騎手が乗って勝てばもう戻ってきません。乗り馬はリセットされて、また一から。その繰り返し。

【金子】 ホント、ケガが多かったもんね。

【増田】 肩、首、背骨、足の親指も小指も骨折。肋骨を加えれば何箇所骨折したかわからないくらい骨折してます。膝もやってるし、親指の間をパッキリ切ったこともありました。

【金子】 俺だったら、やめたくなっていたかも。怖くはないの？

【増田】 結婚したんで、僕が頑張らなければという気持ちしかありませんでした。

【金子】 体重調整は？ 軽い斤量でも乗れるのは武器だと思うんだけど。

【増田】 早目に言ってもらえれば49キロでも乗れます。

【金子】 結婚式は競馬場でやったんだってね。あれはいい思い出になったんじゃない？出席した方も最高に楽しかった。

【増田】 2010年ですからもう10年以上経ちましたが、あの頃は中央の場外発売もしていなかったので実現できたんでしょうね。最初は競馬場でやたらいいんじゃない？って冗談ばく言われたことがきっかけなんです。それを競馬場や関係者の皆さんが協力してくださって実現できたんです。

【金子】 パドックでファンも迎えて結婚の誓いをして、内馬場でやった披露宴は新郎新婦が馬に乗って登場した。騎手会でもビジョンに流す映像を作った。今でも奥さんと仲がいいもんね。

【増田】 あの日は天気予報が雨だったのに降らなかったのがありがたかったですね。雨が降ったらどんな大移動になってたか(笑)

【金子】 長男も誕生したんだってね。もらった年賀状の写真見たら増田にそっくりだと思ったよ。

【増田】 もう2歳になります。写真を見ると僕の兄貴にそっくり(笑) 性格はなかなか激しくて、公園に連れて行ってもすぐボスになるジャイアン気質。どちらに似たのか…。

【金子】 休みの時は何をしているの？

【増田】 以前は家族で釣りに行ったり、旅行に行ったり出かけることが多かったですね。車で大阪まで行ったり、愛知県にある香嵐溪の紅葉は綺麗でした。今は子供が中心ですけど。猫のベンガルが2匹(ビスケットとクッキー) いるので遊ぶのも息抜きになります。

【金子】 昨年も3ヵ月くらいケガで休んでいたよね。それで川崎ジョッキーズカップでは第二位だったのはスゴいね！

【増田】 8戦のうち5回しか乗っていなかったのに、あの賞金はありがたいですね(笑)。励みになります。

※川崎ジョッキーズカップは、川崎所属騎手だけが騎乗できるレースとして以前は単独で行われていたが、昨年から年間を通してのシリーズ化された。

【金子】 新年も始まったばかりだけど、正月開催で3勝といい滑り出しだね。

【増田】 いいスタートになりました。期待していた馬では結果を出せないこともありました。次につながればいいですね。

【金子】 逃げ切っているイメージが強いけど、意識しているの？

【増田】 捌くのが下手なんです。道中で考え過ぎちゃうのが良くない。もつと思切よく、動く時は動かない。

【金子】 考え過ぎずに動けるのがいい波に乗ってる時だね。

【増田】 そうなんです。僕の場合は波が激しい。考え過ぎずパートと乗った時の方が成績がいい。ずっとそうしていけたらいいんですけど。

【金子】 どんな馬でもあきらめずに乗ることは大事だね。どうにかしてやろうって気持ちで乗る。正月開催では最低人気の馬で勝ってたよね？

【増田】 逃げ切ったんですけど、自分としては、なんでこんなに人気がないんだろって思いました。B級で走ってちよこちよ着に入ってた馬で、休み明け2戦目で降級してんですけど評価が低かった



【金子】 2002年デビューだから、もう19年目か。これまで乗った馬の中で思い深い馬はいる？

【増田】 カネショウアトラスという馬ですね。浦和の重賞(埼玉新聞栄冠賞2着)に乗りに行ってから、自分の中で視界が開けたというか、周りがよく見えるようになったんです。あれ？こんなに視界が広がったんだ。そのあとは落ち着いて乗れるようになりました。

【金子】 それは自信がついたのもあるのかな。重賞の騎乗を頼まれて、緊張して結果が出ると、自分の中で見えない変化が起きてくる。騎手として大切にしていることはありますか？

【増田】 調教でもレースでも丁寧に乗るようにしてますね。他の人がレースで騎乗する馬でも丁寧に乗るようにしています。

【金子】 レースでは？

【増田】 とにかくあきらめないことです。

【金子】 2021年の目標は？

【増田】 今年はケガなく年間を通して乗って、これまで最高の31勝を越えたいですね。

【金子】 キャリアハイを目指すんだね。増田ならできる！今日はありがとう。(取材日 1月17日)



	<p>★金子正彦プロフィール 1962年11月12日神奈川県出身。 1979年11月19日の騎手デビューから16,482戦1,227勝を挙げ2017年3月に引退。重賞勝ち(東京ダービー(サイレントスタメン)、浦和記念(モエレトレジャー)、桜花賞(ミライ)、ハイセイコー記念(ソルテ)など11勝。現在は競馬専門紙等でコラムを執筆している。</p>
---	--

南関東魂

なんかんだましい
高橋華代子の南関東競馬



2021年が始まりました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、再び無観客競馬中の川崎競馬をはじめとした南関東競馬。普通の日常が1日も早く帰ってきますように。

～川崎生え抜きルイドフィーネ、悲願の重賞制覇！～

今回も、川崎勢のうれしいニュースをお届けすることができました！11月11日に川崎競馬場で行われた3歳牝馬重賞のS1ロジータ記念(2100m)で、内田勝義厩舎所属のルイドフィーネ(馬主 吉田晴哉 様)が、悲願の重賞初制覇を飾りました。



初騎乗の森泰斗騎手にエスコートされ、道中は内の3、4番手から進め、勝負所から外目に持ち出し進出すると、最後の直線では、南関東牝馬2冠馬アクアリーブルを交わして先頭に立ち、最後は1馬身半差つけたところがゴールでした。

ルイドフィーネは川崎生え抜き馬で、重賞キャリアはローレル賞2着から始まり、東京2歳優駿牝馬4着、桜花賞3着、東京プリンセス賞3着、関東オークス4着。放牧休養明けだった戸塚記念は牡馬たちにぶつけ、優勝したティーズダンクから0.4秒差の4着。そして、ついに、タイトルホルダーに！！



ルイドフィーネのロジータ記念口取り。向かって左から、森騎手、内田調教師、水上厩務員(写真撮影の時だけマスクを外しています)

半姉のナターレも内田厩舎に所属し、重賞5勝(南関東重賞3勝)を挙げた有名馬です。「お姉ちゃんも動きのすばらしい馬でしたが、妹のバネもすばらしいです。素質はかなりのものがあって、ようやく重賞を勝つことができ、ゴールした時は本当に良かったなあと思いました。レースの上手な馬でどんな形になってもいいですね」(内田調教師)。

現在のルイドフィーネは放牧休養中ということで、帰ってきた際には、川崎競馬をはじめとした南関東競馬を、再び盛り上げて欲しいなあと思います！

～神尾香澄(かみおかすみ) 騎手候補生について～

前回のこのコラムでは、川崎競馬場で神尾香澄(かみおかすみ) 騎手候補生(山田質厩舎所属)が実習中ということをお伝えしました。半年間の実習期間を経て、1月上旬に那須の教養センターへと無事に帰りました。今度会う時は、騎手試験に合格し、神尾香澄騎手として、川崎競馬場へ帰ってきた時。個人的にも非常に楽しみに待ちきれないので(笑)、今回は神尾騎手候補生の話題をお届けしたいと思います。



神尾騎手候補生と師匠の山田調教師。このご時世なので、マスクを着用しながらの2ショット

新潟県生まれで静岡県育ちの神尾騎手候補生。山田調教師とはどういつながりがあったのか、山田調教師に伺いました。

「調教師という仕事をさせて頂いている以上、人を育てるといっても夢のひとつでした。藤江(藤江渉騎手)が所属になったのはキャリアを積んでからなので、最初からという意味では自分自身も初めてです。香澄が川崎競馬場に希望を出していたということで、ちょうど縁とタイミングでしたね。だからと言って、女性騎手を育てるといふ気持ちは全くなくて、1人の騎手を育てていきたいという気持ちで接しています」(山田調教師)。

147センチとう小柄な体ですが、性格はかなり負けず嫌いでガッツのあるタイプ。中学時代はサッカーの男子チームに女子1人で入部していたそう。

神尾騎手候補生が騎手を目指したのは、プロスポーツ選手という職業に憧れを持っていたことから。

「確かに負けん気は強くて、技術向上を目指して研究熱心でした。体は小さいですが、体幹はしっかりしていて、バランスがいいというのは、周りの関係者はよく言ってくれていました。真面目で、少しずつ上達しています」(山田調教師)。

川崎競馬場所属の女性騎手は15年ほど不在です。神尾騎手候補生が騎手試験に合格すれば、安池成実騎手(現調教師)、戸川理彩騎手(引退)に続く、3人目の女性騎手が誕生することになります。

「話題になるのはとてもいいことですが、個人的には男女関係なく1人の騎手がデビューするという想いです。今はとにかく無事に試験に合格して、長く現役生活を続けていけるような騎手になって欲しいです。女性騎手は減量(★4キロスタート)もあるし、長く乗るには乗鞍も確保しなくてはいけないので、とにかく怪我のないように、愛される騎手になって欲しいです。女性騎手のシリーズでも活躍できるといいですね」(山田調教師)。

ここで神尾騎手候補生へのインタビューをお届けします。実習期間を終える際に伺いました。

Q.この半年間はどんなことを学びましたか？

A.騎手の仕事の流れや、技術面で自分の足りないところなど、これから騎手になるために必要なことを学びました。大変でしたが、山田調教師をはじめ周りの方々が支えてくださっているのがすごく感じられて、だからこそ、どうしたらもっと早く上手になって、自分も成長できるかなあと考えながらできたので、とても充実した半年間でした。

Q.どんな所が大変でしたか？

A.難しい馬でうまく乗れないなあと思う馬にも毎日乗るのが仕事なので、怖かったり、わからない部分もたくさんありましたが、自分なりに試行錯誤をして切り替えながらやったことです。うまくいかない日が続いて考えながらやっているうちに、わからなかったことがわかるようになって、できなかったことができるようになって、技術が身についてくる実感はすごく楽しくてうれしかったです。

Q.騎手試験に合格したら、いよいよ4月にデビューですね。

A.実際にレースに乗ってみたいとわからないことの方が多いと思いますが、自分の中でこうしたいとか、こういうのが必要なのかなというの、前よりわかってきてはいるので、この数か月で今できることをしっかり準備したいです。早く騎手になりたいです！

香澄ちゃん、騎手になって川崎競馬場へ帰って来る日を心待ちにしています！次号はそんなうれしいニュースが届けられますように！

(文・写真 高橋 華代子)



ルックスはとってもキュートな神尾騎手候補生ですが、負けず嫌いでガッツのあるタイプ

* 重賞・特別レース 勝利馬 *

関係者の皆様おめでとうございます！ *敬称略、1月第12回開催まで

重賞レース 1着

日付	開催	レース	レース名	馬名	馬主	調教師
R2.11.11	川崎	11R	第31回ロジータ記念	ルイドフィーネ	吉田晴哉	内田勝義

川崎競馬(特別競走) 1着

日付	開催	レース	レース名	馬名	馬主	調教師
R2.11.9	第10回	2R	モンシロチョウ特別2歳	フィスラー	小泉修	鈴木義久
R2.11.9	第10回	3R	ムギワラトンボ特別2歳	ミトノラッキー	竹内三年	鈴木義久
R2.11.9	第10回	5R	フレッチャ特別3歳	クサナギ	三宅勝俊	高月賢一
R2.11.10	第10回	10R	時雨空特別B2	ディアライゼ	山下繁美	武井和実
R2.11.11	第10回	5R	木菟特別3歳	ブラーニーキス	吉田和美	内田勝義
R2.11.11	第10回	10R	ノベンバースター賞B2B3	チークス	佐久間拓士	林隆之
R2.11.12	第10回	3R	アロー特別3歳	タイセイシャイニー	田中成奉	内田勝義
R2.11.12	第10回	4R	オオカマキリ特別2歳	モンゲーハガネ	須山悟至	鈴木義久
R2.11.12	第10回	10R	木枯らし特別B3	ヒトノワドリム	永見貴昭	田邊陽一
R2.11.13	第10回	3R	シャンタン賞2歳	プリモパイソン(有)	グランド牧場	内田勝義
R2.11.13	第10回	10R	エスプリーズで川崎記念をレコードで制した男森下博記念3歳	テゴナ	森岡幸人	山崎裕也
R2.12.14	第11回	4R	ミノムシ特別2歳	ヒートアップハート(有)	キャロットファーム	内田勝義
R2.12.15	第11回	3R	アリゾゴク特別2歳	エムオーアタック	大浅真	高月賢一
R2.12.15	第11回	5R	ウスバカゲロウ特別2歳	ビービーアクティブ	安喰武雄	鈴木義久
R2.12.15	第11回	8R	鴛鴦特別3歳	キク	石瀬浩三	池田孝
R2.12.15	第11回	10R	大磯港にぎわい交流施設完成記念B3	フリーホースカップ	福岡純一	久保秀男
R2.12.15	第11回	11R	マジェスティックチャレンジA2B1	シャイニングアカリ	伊藤享	佐々木仁

R2.12.16	第11回	2R	ブリザード特別3歳	キタノマナザシ	小松芳子	佐々木仁
R2.12.16	第11回	4R	シュネーシュトゥルム特別3歳	アトラクトボイス	大原啓子	平田正一
R2.12.16	第11回	10R	チャーチルダウンズ特別B1B2	ターミガン	宮崎時子	内田勝義
R2.12.17	第11回	3R	ペンティスカ特別3歳	バンディーロ	佐藤真夫	内田勝義
R2.12.17	第11回	9R	川崎ジュニアオープン2歳	レディブラウン	藤元厚雄	原三男
R2.12.17	第11回	11R	麻生オープン3上	ディアライゼ	山下繁美	武井和実
R2.12.18	第11回	3R	ジングルベル特別2歳	ニヨドスマイル	西森鶴	岩本洋
R2.12.18	第11回	7R	馴鹿特別3歳	イントゥザスカイ	山内晃	八木正喜
R2.12.18	第11回	9R	雪月風花特別A2B1	ダンディーヴォーグ	志村幸彦	内田勝義
R2.12.18	第11回	12R	42ndホワイトクリスマス賞	ビクトリーシューズ	呉本昌時	佐藤博紀
R3.1.1	第12回	1R	2021幕開け特別3歳	フィスラー	小泉修	鈴木義久
R3.1.1	第12回	2R	お年玉特別3歳	アイノストーリー	會田浩史	内田勝義
R3.1.1	第12回	9R	18thゴールデンホース賞	マイネルメーア	(株)ボンズ	池田孝
R3.1.1	第12回	10R	初夢特別B1	シカゴジャズ	星野隆男	内田勝義
R3.1.2	第12回	2R	坊主めくり特別3歳	グレル	大久保和夫	岩本洋
R3.1.2	第12回	4R	羽根つき特別3歳	ボウトロイ	西森鶴	岩本洋
R3.1.2	第12回	5R	だるま落とし特別3歳	イグドラシル	松田幸生	山崎尋美
R3.1.2	第12回	11R	時計修理のクイック新春記念	ダルヴァザ(有)	キャロットファーム	内田勝義
R3.1.3	第12回	11R	七福神特別B2B3	デランブル	吉田晴哉	内田勝義
R3.1.4	第12回	10R	招福オープン3歳	ヒートアップハート(有)	キャロットファーム	内田勝義
R3.1.4	第12回	11R	招き猫特別B2	ロカマドール	庄司修二	山崎尋美

益々のご活躍をお祈りいたします！



岩本洋調教師が幼少期を過ごしたのは川崎競馬の前身に当たる戸塚競馬場。父の岩本亀五郎調教師は1987年に黄綬褒章を受章している地方競馬の功労者。川崎競馬は昭和25年の1月に始まったが、戸塚競馬とは約10ヶ月間並行して開催されていたことから競馬場付近の個人所有地に厩舎を構え、洋師が小学1年の秋に引っ越してきた。自宅の敷地内には馬房と生活空間の両方があり、厩舎と呼ばれて2001年に亀五郎師が89歳で引退するまで存在していた。

「親父は馬の仕事をしるとは言わなかった」というが日本大学第三中学に通うと野球部に入り白球を追いかけてながらも、休みになれば厩舎の手伝いをしていた。日本大学第三高校に進学したが甲子園の常連校では体格の違いで野球を断念。「高校3年生の夏前になって友人達が大学に進む準備している傍らで目的を失っていると「これから馬の仕事をする気なら騎手になれ、騎手をやらないんだったら別の仕事をしなさい」と親父から言われた。きっと馬の道をあきらめると思ったのかもしれないね」。しかし洋師はそのとき54キロあった体重を落とすために減食を始め、朝の調教を手伝ってから学校に行くようになった。そしてその頃は八王子にあった騎手学校の4期生として入学。当時の騎手課程は半年だった。「消灯過ぎから風呂に入って汗取り。遊び回っていた高校生活から急に9時に寝ると言われても寝られないからちょうどよかったんだけどね」と18歳の暮れにデビューするが、騎手になると決めた日から36歳で騎手を引退するまで減量は続き、ひたすら空腹に耐える日々だったという。「親父は朝履いたチョーカーは寝るまで脱ぐなという厳しい師匠だったし、つらいことはいくらでもあったが、食べられないつらさに比べれば他のつらいことなんてへっちゃらだった」。その一方で、騎手の立場向上のために奔走した。当時は南関東でも川崎だけが調教師会、騎手会が分離していなかったのを独立させ、1976年4月に初代騎手会長就任。うやむやだった調教料の問題に取り組み、さらには他場とも協力して全日本騎手連盟を設立して改革に尽力した。「そんな頃、親父が倒れてね。調教師になることを意識した。でも調教師が70人以上いた時代だったから開業してもらえたのは4馬房だけだった」。1979年に調教師免許を取得。開業から2年後にエイコウドーンで鎌倉記念を優勝したもののその後は重賞と縁がなかった。「山本五十六の『男の修行、っていう金言があって、いつも心に刻んでいる言葉。『苦しい事、言いたい事、不満な事、腹の立つ事、泣きたい事もあるだろう。これらをじっとこらえゆくのが男の修行である』。中央、地方に置いている馬主さん方との付き合いも広がって、たくさん勉強させてもらってきたが、それが今につながっているんだと思う」。



タクマスリー号での重賞勝利

脱ぐなという厳しい師匠だったし、つらいことはいくらでもあったが、食べられないつらさに比べれば他のつらいことなんてへっちゃらだった。その一方で、騎手の立場向上のために奔走した。当時は南関東でも川崎だけが調教師会、騎手会が分離していなかったのを独立させ、1976年4月に初代騎手会長就任。うやむやだった調教料の問題に取り組み、さらには他場とも協力して全日本騎手連盟を設立して改革に尽力した。「そんな頃、親父が倒れてね。調教師になることを意識した。でも調教師が70人以上いた時代だったから開業してもらえたのは4馬房だけだった」。1979年に調教師免許を取得。開業から2年後にエイコウドーンで鎌倉記念を優勝したもののその後は重賞と縁がなかった。「山本五十六の『男の修行、っていう金言があって、いつも心に刻んでいる言葉。『苦しい事、言いたい事、不満な事、腹の立つ事、泣きたい事もあるだろう。これらをじっとこらえゆくのが男の修行である』。中央、地方に置いている馬主さん方との付き合いも広がって、たくさん勉強させてもらってきたが、それが今につながっているんだと思う」。



撮影：真鍋元

2017年にゴールドパテックでローレル賞を勝つと、翌年にはヒカリオーツが平和賞を勝ち、雲取賞、東京ダービー、戸塚記念を優勝。ナガタブラックで優駿スプリント、そして昨年はゴールドホイヤーで雲取賞、羽田盃を制した。「ヒカリオーツは親父がこだわっていた東京ダービーを勝ってくれたのがとにかく嬉しかった」。ヒカリオーツの父フリーオソも、山崎誠士騎手の父・尋美調教師も、そして洋師の父・亀五郎師も獲れなかった悲願の東京ダービーを世代を超えて制したヒカリオーツは再起を目指して乗り込みを開始しているという。休み明けを2度使ったゴールドホイヤーは適性条件と状態を見極めていく段階だ。「我慢すること、これは馬づくりにも通じるものがあると思うんだ。弱いところ、悪いところのある馬は時間かける。ゴールから逆算して考えるしかない。この年になってよくわかったよ(笑)」。

調教師会長をトータル14年を務め、現在は相談役。昨年春には弟子の古岡勇樹騎手がデビューし、初勝利を川崎ジョッキーズカップ第2戦で飾ると、シリーズ8戦のうち3勝し年間チャンピオンに輝き活躍ぶり。始まったばかりの新シリーズでも第1戦で優勝している。「前向きで、性格の明るさがいいね。だいぶ積極的になってきている。勝ちを急ぎすぎるなどと言っているんだ。じっとしていると、周囲がそれぞれの思惑で動き出す。そのひと呼吸置くと進む道が開けてくる。そういう経験を積むことが大事」と目を細める。「馬の世界は知らなければ知らないでそれまで。知れば知るほど奥が深いからまだまだ辿り着けずにいます。だからもう少し現役でいたい」と76歳になる今も心に炎を燃やし続けている。



撮影：真鍋元

（文 中川 明美）

※小向トレセン厩舎訪問は今回が最終回になります。次号からは新シリーズが始まります。

令和2年度新馬戦優勝馬

(*敬称略)

関係者の皆様

おめでとうございます!

出走日	馬名	父母	馬主	厩舎	騎手
R2.11.13	1R グローリアスソスマ	シニスターミニスター エレクティオン	日下部勝徳	高月賢一	増田充宏
R2.11.13	2R ユキノマツシマ	サウスヴィグラス アモーレエテルノ	鈴木雅俊	高月賢一	森泰斗
R2.12.18	1R スターレイジング	ノヴェリスト メイユープルーム	三浦勝仁	加藤誠一	増田充宏
R2.12.18	2R リーチアディール	リーチザクラウン サミーカラ	山本将司	加藤誠一	矢野貴之

社会福祉事業の実施について

神奈川馬主協会の重要事業として、例年、児童養護施設へクリスマスプレゼントをお届けしていましたが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、【新日本学園】【川崎愛児園】【ル・プリばらいと・えき】の3施設へ品物に替り商品券をお送りしました。

子供達からはお礼のお手紙や色紙をいただきました。



お礼のお手紙をたくさんいただきました

ペーパーレスご希望の会員様へ

馬主協会から郵送しております紙媒体でのお知らせ、馬主会ニュース等のペーパーレス化をご希望の方、馬主協会からのお知らせをメールでお受け取りになりたい方に会員専用のメールアドレスを設置しました。

ご希望の方は下記メールアドレスまで

1. 会員番号
2. お名前
3. 受信希望メールアドレス

をお送りください。

owners@kanagawa-bashukai.or.jp

各お問い合わせ等もこちらのアドレスにて承ります。



*馬主会ニュース、番組表等は当協会ウェブサイトからもダウンロードできます。

また、随時お知らせも掲載しておりますのでご覧くださいませ。

サイトアドレス： www.kanagawa-bashukai.or.jp

令和2年度 新年護摩祈願

令和2年度の護摩祈願は、日本政府から緊急事態宣言並びに外出自粛要請が発出されたことを受け、田中準市総務委員長にご提案をいただき、川崎大師への参拝は中止とし、場内の馬頭観音碑にお供物を捧げ手を合わせました。
川崎大師へは災厄消除のご祈禱をお願いし、お護摩札を拝受けいたしました。

レース手帳についてのお知らせ

例年、会員の皆様に配布しておりましたレース手帳ですが、当協会の重要な事業である「奨励馬事業」の協会負担額が増えることを考慮の上、不要不急の経費を削減することとし、作成を廃止いたしました。
楽しみにされていた会員の皆様にお詫びするとともに、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。



一般社団法人 神奈川県馬主協会

電話：044-246-5050 FAX：044-245-8090

事務局長 沖村朋彦 事務 俵谷奈苗 加藤佳子
会報編集担当 粕谷知美

新会員紹介

*敬称略

11月	楠 昌史	北海道
	茂木 道和	埼玉県
	田中 成奉	東京都
	矢野 龍一	滋賀県
	北原 大史	埼玉県
	(株)TESORO	三重県
	牧野 好行	神奈川県
	安彦 公一	岩手県
	飯田 孝明	京都府
	光安 了	福岡県
12月	(有)広富牧場	北海道
	星野 洋治	埼玉県
	楊 明山	東京都
	高橋 麻樹	群馬県
	(株)フクキタル	北海道
	東海林 伸	東京都
	石黒 裕康	愛知県
	紙谷 洋一	東京都
	吉岡 寛行	兵庫県
	(株)久遠太	神奈川
	平賀 真吾	広島県
	倉持 俊彦	神奈川
1月	松本 光弘	東京都
	小林 和義	長野県